

# 「江田島市観光振興計画（案）」に対するパブリックコメント実施結果

市民の皆様から広くご意見をいただくためのパブリックコメントを実施しました。

ご提出いただいた貴重なご意見については、項目ごとに整理し、これに対する市の考え方をまとめましたので公表します。貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

## 1 パブリックコメント実施概要

### (1) パブリックコメント実施期間（意見の提出期間）

平成29年3月2日（木）～3月22日（水）

### (2) 意見提案の対象者

市内在住・在勤・在学の方，市内に事業所を有する方，その他利害関係者

### (3) 閲覧場所

本庁，江田島支所，能美支所，沖美支所，三高支所及びホームページ

### (4) 意見の提出方法

持参又は郵送、FAX，電子メール

## 2 パブリックコメント実施結果

(1) 提出者数 3人

(2) 項目数 23件

(3) 寄せられた意見等と市の考え方について 別紙のとおり

## 別紙 意見への考え方など

章	番号	頁	意見	江田島市の考え方
2. 本市の観光の現状	1	2	<p>広島市・広島県だけでなく、呉市の推移も掲載してはどうか。</p> <p>(理由)</p> <p>来年度、呉市を中心とした(仮称)広島中央地域連携中枢都市圏の形成が検討されています。今後検討していく具体的取組には、『戦略的な観光施策』も盛り込まれると思います。</p> <p>また、来年度予算案には、『台湾との連携』があり、台湾北部の基隆市(Keelung, キールン)との姉妹都市提携(1172万円)が盛り込まれています。基隆港は貿易港であるとともに軍港機能も備えており、呉市と共通するものがあります。産経ニュース(2017.2.11 07:04 配信)では、呉市は江田島、熊野、坂の近隣3市町と連携し、台湾観光客の本格誘致に乗り出すと発表したと掲載されており、江田島市のinbound戦略にも関係します。</p>	<p>本計画では、想定ターゲットとして「広島市、呉市、廿日市市(宮島)等近隣観光地を訪れる観光客」を掲げており、また「インバウンド対応プロジェクト」として広域連携で取り組むことを掲げており、呉市とも連携して観光施策に取り組みます。</p> <p>ご指摘の点については、P2の広島市の総観光客数の推移のグラフに、呉市の総観光客数の推移も合わせて掲載します。</p>
	2	2	<p>広島市を中心とする広島広域都市圏の観光施策ともリンクしなければならないが、どのように盛り込むか。</p>	<p>具体的方策「2)来訪のきっかけづくり」の「(2)広域連携によるプロモーション展開・誘客促進」として、広島市や呉市、廿日市市と連携した誘客促進策を掲げており(P22)、広島広域都市圏の観光施策とリンクしながら進めます。</p>
	3	5	<p>(3)観光客の発地別割合</p> <p>表について、分かりにくい部分があります。</p> <p>「市内観光客」ですが、江田島市では、江田島市民、広島市では広島市民ということになります。一方、広島県は23市町のそれぞれの市町内観光客を単純に合算したものであり、この点を読み手に分かりやすい工夫が必要です。</p>	<p>ご指摘の点につきまして、P5の「総観光客数 発地別割合」のグラフの注釈に「なお、広島県の「市内観光客」は各市町の「市内観光客」の合計値である点に留意が必要。」の文言を追加します。</p>

章	番号	頁	意見	江田島市の考え方
3. 本市の観光の魅力・課題	4	13	<p>1) 観光における強み・弱み</p> <p>「資源・自然」の強みにある「温泉（ラドン温泉）」はどこですか？江田島市大柿町深江地区のことでしょうか。尚、『江田島市観光振興のあり方』（平成28年3月15日）のP12には資源（強み）には、「塩温泉」という記述があります。</p> <p>P13の脚注にある「江田島市観光振興のあり方」の（平成27年3月）は（平成28年3月）ではないでしょうか。</p>	<p>深江地区は「単純放射能冷鉱泉」でラドンの含有量が規定値以上のラドン温泉となっています。</p> <p>一方、シーサイド温泉のうみは「ナトリウム・カルシウム塩化物強塩温泉」で「塩温泉」と言えます。</p> <p>P13の表内の表記につきまして、観光資源の一つとしてラドン温泉の記載は残し、「塩温泉」の記載を追記します。また、脚注につきましてはご指摘の通り「平成28年3月」に訂正いたします。</p>
	5	13	<p>&lt;感じたこと・良い点&gt;</p> <p>(1) 昔（数十年前）に比べ、高速艇の導入で、江田島から広島や呉へ短時間で行けるようになった。（以前は、小用からフェリーでくれまで約25分、広島まで約55分）</p> <p>(2) 江田島や周辺の景色の美しさに感動した。（これは、以前と変わらないので改めて気づいた。）</p> <p>(3) 江田島の観光資源（名所、特産物、新たに発掘した産業など）をパンフレット等で積極的にPRし、それらがどこに行けば入手できるか具体的にわかりやすく表示してある。</p> <p>(4) サイクリング等アクティビティを好む主に若年層向けのPRをすることで、実際に来訪者が増えている。</p>	<p>現在の計画案のP13において、自然景観の良さやアクティビティの豊富さ、アクセスの多様さを掲載しております。</p> <p>また、パンフレットにつきましては、江田島市が発行する観光パンフレットや、江田島市商工会の作成した観光情報&amp;飲食店情報のガイドマップ「江田島・観光グルメガイド（平成28年4月版）」を中心に、今後もPRに取り組みます。</p>

章	番号	頁	意見	江田島市の考え方
4. 観光振興の理念・施策体系	6	16	<p>観光に関してではありませんが、江田島は都市部に近い島と PR されていますが、交通の便や所要時間を広く周知し、都市部へ通勤、通学可能な島とする。さらに、島でマイホームが実現可能と PR してはいかがでしょうか。</p> <p>理由) 広島，呉方面への就職にあたり，非常に不利な点が多い。なぜなら，都市部からは江田島は遠いから通勤手当の支出がかさむ。船の運航が気象によりすぐ止まるため出勤に支障が出やすい，最終便が早く残業等への対応が困難だと思われる。しかし，実際のところは，船の運航は台風等の強風に弱い，その他の気象には結構強く，JR（例えば呉線）での通勤より運休や遅れは少ないと思う。</p>	<p>「4. 観光振興の理念・施策体系」の中で，まず当市への「来訪のきっかけづくり」を進め，知っていただきます。</p> <p>また，P26 は「移住・定住を見据えた縁づくりプロジェクト」として観光から移住・定住への展開を促すことを掲げております。</p>
	7	19	<p>目標数値</p> <p>目標数値という用語を KPI（重要業績評価指数，Key Performance Indicators）にしてはどうか。総合戦略で使用されており，今後の計画では KPI に統一することも検討してください。</p>	<p>平成 27 年 10 月策定の江田島市総合戦略では，5 年後の基本目標を設定し，実現すべき成果に係る数値目標（目標指標）を設定しています。また，基本目標ごとに講ずべき施策を分野記載しその成果を客観的に検証できる指標として（重要業績評価指標（KPI））を設定しています。</p> <p>観光関連では，具体的施策②として「交流人口の増加を図り，江田島市との「縁」を有する人を増やす」を掲げ，その目標指標として「年間総観光客数（万人）を設定しており，この KPI として「体験メニュー数」や「体験型修学旅行等の受入人数」を設定しています。</p> <p>本計画における目標数値は，混同しない様に今回は目標値とします。又，KPI の定義も明確化していないため，今後，行政用語としての取り扱いを研究します。</p>

章	番号	頁	意見	江田島市の考え方																							
5. 具体的方策	8	22	<p>(提案)</p> <p>他の島にはない江田島の特徴「江田島市＝旧海軍兵学校があった島」をもっと前面に出してその歴史を伝えるPRをする。</p> <p>理由) ①旧海軍兵学校があった島として、その歴史を伝え、教育参考館等にある資料を見てもらい、当時の兵隊さんの思いを知ること、どんな思いで戦争に出いかれたのかその思いが伝わる島とする。そしてその方々の犠牲があって今の我々の幸せがあることに気づき、二度と繰り返してはならないという思いを強めるきっかけにしてもらう。</p> <p>②近隣都市の広島市、呉市と組んで江田島にも来てもらい、戦争と平和について考えるきっかけにしてもらう。市の印象調査によると、40代以上の方には旧海軍兵学校は興味があるが、それ以下の方には興味を持っている方が少なくなっている。江田島の役割を再考する必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校)は、本計画において江田島市の重要な資源として位置付けており、江田島に来て頂く目的地として整理しています。</p> <p>本計画の具体的方策「2) 来訪のきっかけづくり」の「(2) 広域連携によるプロモーション展開・誘客促進」として、広島市や呉市と連携した誘客促進策を掲げており(P22)、広島広域都市圏の観光施策とリンクしながら進めます。</p>																							
	9	23	<p>3) 観光コンテンツ・関連産業づくり</p> <p>観光潮干狩はかつて江田島市にとって有力なコンテンツでした。いまでも市内外からお問い合わせがあります。水産振興と関連してきますが、再興プロジェクトとして検討していただきたい。また、現在策定中の第2次江田島市水産振興ビジョンともリンクするのが望ましい。</p> <p>参考までに、広島県HP掲載の「観光客数の動向」目的別総観光客数から抜粋した、江田島市の「海水浴、釣、潮干狩」の総観光客数の推移。</p> <p style="text-align: right;">(千人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>79</td> <td>36</td> <td>44</td> <td>51</td> <td>45</td> <td>56</td> <td>34</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	75	79	36	44	51	45	56	34	20	24	22	21
H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27																
75	79	36	44	51	45	56	34	20	24	22	21																

10	24	<p>江田島の特産品やおみやげを集めて販売するお店を来訪者の利用が多い小用港に設置し、観光消費額の増を図る。(大豆うどんや軽食、喫茶コーナーを設けゆっくりできるスペースも作る。日曜日朝市を開催し特産品を売るなど)</p> <p>理由) ①術科学校来訪者は団体が多く、観光バスを利用している。港の駐車場を利用する。</p> <p>②来訪者の江田島への出入りは呉、広島から船を利用する人が多い。小用港は市民以外の人の出入りが多い。船の待ち時間に利用してもらう。</p> <p>③術科学校の学生さんの入退校の移動や休日の外出に小用港から船を多く利用している。</p> <p>④江田島に多くの江田島ブランドやその他特産物があるが、販売所が点在していて車がないと買いに行けない。</p>	<p>本計画の具体的方策「1) 魅力ある宿泊観光関連施設の整備」の「②案内所機能を備えた観光拠点整備プロジェクト」として地元産品の販売拠点、土産物等の購入拠点の整備を掲げています(P20)。</p> <p>また、具体的方策「3) 観光コンテンツ・関連産業づくり」の「(2) 観光関連商品開発・事業支援」として、観光客の市内における消費を促す地元産品を活用した商品開発を掲げ</p>
11	24	<p>お土産を含めて江田島のオリジナルティーのあるお土産があると良い。例えばペットボトルで『江田島のうまい水』を出しているが製造者が三原市となっており、とても残念である。市内の酒造会社などへ働きかけて本物の江田島の水を出してほしい。</p> <p>江田島市へまた来てみたいと思う場所の創設。(例:大豆うどん大盛、サイフォンで煎れたコーヒーが飲めるカフェや美味しいパン屋など)。広島市のサイクリストはわざわざ自転車で浜田までとんかつを食べに日帰りで行ったりしています。</p> <p>江田島市内で買い物をしたら帰りのフェリー代は無料になる奇抜なキャンペーンをしてマスコミ等の注目を集めてはどうか。</p>	<p>(P24) , 観光消費額増に向けて様々な形で取り組みます。</p>
12	27	<p>(1) 市内周遊を促進させる環境整備</p> <p>フェリー代(車両)が高く、また、バス便が不便なため自家用車で来島する観光客が多い。島内を周遊してもらうには、安価なレンタカー(例えば、電気自動車)サービスも検討してはどうか。</p>	<p>島内周遊促進に向けてのサービス(レンタカー又は観光タクシー等)の検討は必要と考えます。「①アクセス向上プロジェクト」(P27)に「観光客が利用しやすい周遊サービス等について検討します」を追記します。</p>
13	27	<p>サイクリング推奨ルートに江田島八幡神社上の山を追加する。(あまり、上るのが大変でない。展望スペースがあるといい。)コースは、江田島町中央のシルバー人材センター前、中央5丁目を通り山道(緩やかな階段)を上る。下りは江田島八幡神社方面へ。その山からは、先日行われた幹部候補生卒業式修了後、航海に出ていく船の様子もよく見えました。</p> <p>理由) ①当場所からは江田島湾はもちろん、術科学校内が身近にしかもよく見える。(以前、中国新聞で都会からの記者の方も紹介されていた。)</p>	<p>具体的なサイクリングルートについては、観光戦略チームによる具体的な事業の中で検討することとしており、ご意見は検討の際の参考と致します。</p>

14	27	<p>団体等で初めて訪れた方や術科学校関係者が江田島を訪問し、島の美しさやよさを知り、再度(繰り返し)来たいと思える環境をつくる。(初回のきっかけは術科学校だったが、いい島だったのでまた来よう。次は家族を連れて、宿泊もして、島のその名所の観光もしたいと思ってもらう。)</p> <p>ただし、島内での観光や移動は車がないと困難であるため</p> <p>⇒ ① 観光タクシーの充実とPRを積極的に行う。(港や宿まで送迎、観光)</p> <p>② 宿泊施設の充実。</p>	<p>再度(繰り返し)来て頂くことを重視し、具体的方策「4) 江田島市との縁づくり・担い手づくり」(P25)として縁づくりに取り組みます。</p> <p>また、島内移動については、「5) 受入体制の整備」の「(1) 市内周遊を促進させる環境整備」(P27)としてアクセス向上に取り組みます。</p>
15	27	<p>P27にあるアクセス向上プロジェクト</p> <p>『自動車及び自転車の走行が困難な狭隘道路については、一部拡幅する等の道路整備を進め、団体バスの通行経路確保とともに、サイクリングロード整備計画に基づき、「かきしま海道サイクリングロード」の整備を進める』とあるが、ブルーラインが経年劣化しているので新たに引きなおして欲しい。ブルーラインが約2km間隔で引かれているが、初めて江田島を走る人には、本当にこの道で合っているのか不安になるようなのでしまなみ海道と同様に全工程にブルーラインを引かれることを望みます。また切串港にかきしま海道のスタート&amp;ゴール地点となるものがあっても良いと思う。呉から完走された人の達成感や切串港からスタートする人のやる気を促すためにも。</p> <p>広島市内からフェリーに乗れば、江田島へ来れる利点を生かして親子で安全に走れるようにサイクリングコースの整備を望みます。</p>	<p>「①アクセス向上プロジェクト」(P27)のサイクリングロード整備を進めていくにあたり参考にさせていただきます。</p> <p>具体的なサイクリングルートについては、観光戦略チームによる具体的な事業の中で検討することとしており、ご意見は検討の際の参考と致します。</p>
16	27	<p>観光客に使いやすい公共交通ダイヤの情報とあるが、自転車に乗ったままで時刻表の確認できるように時刻表の看板が道路脇にあると便利だと思う。(景観を損ねるが)→広島市へフェリーで帰るために江南や大君,大原あたり看板があると何分のフェリーに乗って帰ろうと便利だと思います。江南の交差点に時計台を併設すると待ち合わせスポットにもなりうると思います。</p>	<p>「①アクセス向上プロジェクト」(P27)の公共交通の利便性向上に向けた取組を進めていくにあたり参考にさせていただきます。</p> <p>具体的な情報発信方法については、観光戦略チームにより検討することとしており、ご意見は検討の際の参考と致します。</p>

17	28	<p>(2) 一体的な観光振興事業の展開</p> <p>江田島市観光戦略チームの事務局は市観光振興課という理解でよろしいか。</p>	<p>ご質問の通り、江田島市観光戦略チームの事務局は市観光振興課が担当することを想定しています。</p>
18	28	<p>平成29年度採用予定の観光仕掛人(地域おこし協力隊員)のミッションは、①観光資源の発掘・観光商品の開発、②観光ルートの企画・立案・実施です。観光戦略チームの一員となるのか、もし、そうであるならば、具体的な役割は何か教えてほしい。</p>	<p>観光仕掛人(地域おこし協力隊員)は、観光戦略チームの一員となり、チーム全体で観光振興に取り組みます。</p> <p>観光仕掛人の具体的な役割としては、提示されている2つのミッションが挙げられます。</p>
19	28	<p>江田島市観光推進組織(観光戦略チーム)は、江田島市における一体的な観光推進事業の展開を目指す組織であり、まさしくDMO(Destination Management/Marketing Organization)ですが、将来的に地域DMOとして観光庁に登録する組織を目指しているのか。</p>	<p>ご意見の通り、観光戦略チームは一体的な観光推進の展開や計画の進捗状況等を共有する組織であり、本市のDMOとしての機能を持つ組織となります。</p> <p>観光庁への登録等は、今後、観光戦略チームにおいて検討することを想定しています。</p>
20	29	<p>観光エリア別特徴・観光資源</p> <p>体験メニューとして、上述のとおり観光潮干狩も検討していただきたい。また、近隣市町の方にとって長瀬海岸の「マテガイ」採りが密かな人気メニューです。</p>	<p>潮干狩については、策定委員会において、委員から同様の意見を頂きましたが、アサリの生育不良の理由により、委員会において掲載を見送ることとしましたが、「マテガイ」採りもあることから、P29の長瀬海岸の体験メニューとして「潮干狩(マテガイ)」を追記しました。</p> <p>今後、計画の見直し時点において状況に変化があった場合には、計画への記載を検討します。</p>



章	番号	頁	意見	江田島市の考え方
その他	21	一 提 言	<p>海外都市との姉妹提携</p> <p>戦前の世界三大兵学校である旧・海軍兵学校（江田島）があるのだから、米海軍士官学校があるアナポリス（AnnaPolis, MD）、英海軍士官学校があるダートマス（Dartmouth）との姉妹都市提携を結ぶことも検討してはどうか。世界遺産がある宮島・広島との連携で欧米の inbound 誘致を模索することも必要。幹部候補生学校には現在も米海軍士官が連絡官として駐在しています。</p>	<p>本計画の具体的方策「2）来訪のきっかけづくり」のうち「（2）広域連携によるプロモーション展開・誘客促進」の「②インバウンド対応プロジェクト」としてインバウンド誘致に取り組むことを明記しています（P22）。</p> <p>ご意見のような海外と使途の姉妹提携についても、今後、観光戦略チームにおいて検討を進めます。</p>
	22		<p>麒麟ホールディングス（株）との連携</p> <p>麒麟ビールのラベルの麒麟の図案は、六角紫水（江田島市大柿町大原出身）のデザインとされています。グループ社員数 39,888 人（麒麟ホールディングス連結従業員数、2015 年 12 月 31 日現在）であり、『江田島市との縁』に結びつけることができないか、連携を模索してみてもどうか。</p>	<p>本計画において、具体的方策「4）江田島市との縁づくり・担い手づくり」として掲げており（P26）、多様な形で「江田島市との縁づくり」に取り組めます。</p> <p>ご意見のような企業連携についても、今後、観光戦略チームにおいて検討を進めます。</p>
	23		<p>台湾との交流</p> <p>上述のとおり呉市が台湾・基隆市との姉妹都市提携をする予定。灘尾弘吉・元衆院議長（大柿町大原出身）は、台湾との交流を支援する日華議員懇談会の初代会長であり、また、戦前の台北帝国大学で医学を教え、戦後も国立台湾大学教授及び附属病院最高顧問を務められ台湾医学会に貢献した河石九二夫氏（後に広島大学医学部長、大柿町大原出身）もいる。</p> <p>今年度は、灘尾基金を活用して大柿高校と台湾の学校の交流を図っており、また、サイクリングの島として知名度が上がっている江田島市です。2012 年 5 月には台湾の自転車メーカー、ジャイアント社の会長が島内でツーリングを楽しんだこともあり、台湾の方は温泉も好きだと聞く。江田島市には台湾からの観光客を誘致するための関係性は十分なものがあり、呉市との連携による台湾観光客誘致戦略も立てやすいのではないかと。</p>	<p>本計画の具体的方策「2）来訪のきっかけづくり」のうち「（2）広域連携によるプロモーション展開・誘客促進」の「②インバウンド対応プロジェクト」としてインバウンド誘致に取り組むことを明記しており（P22）、台湾は有力なターゲットの 1 つとして考えられます。</p> <p>台湾との交流を進め、台湾からの観光客誘致について、ご意見を踏まえ、今後、観光戦略チームにおいて検討を進めます。</p>